

おにクルに集合！
アートカフェをつくろう！
第1回 実施報告書

2024.12.10
茨木市
サントリーパブリシティサービス

目次

実施概要・・・・・・・・P. 3

スケジュール・・・・・・・・P. 4

講義・・・・・・・・P. 5

ワークショップ・・・・・・・・P. 6

アンケート結果・・・・・・・・P. 8

記録画像・・・・・・・・P. 9

実施概要

1.日時

令和6年12月1日(日)16:00-18:00 (15:50開場)

2.場所

おにクル7階 会議室1

3.参加者

18名(参加者全23名中5名欠席)

4.運営

講師:藤野一夫教授(芸術文化観光専門職大学副学長)

主催:茨木市

企画・運営:SPS

5.第1回の目標

- ①共通点や新しい視点を見つける
- ②茨木市の少し先の未来を想像する

スケジュール

時間	項目	詳細
15:50	開場	
16:02	イントロダクション	主旨説明
16:07	背景	「茨木市文化振興ビジョン(第2期)」の説明(茨木市)
16:20	講義	「文化的コモンズの形成を目指して」(藤野教授)
17:12	休憩	
17:20	説明	
17:25	自己紹介	参加者同士で自己紹介(名前+今の気持ち一言)
17:25	ワークショップ	どんな時にワクワクする？感動する？好きな雰囲気は？ 「赤:共感 青:思いつかなかった！ 黄:茨木市らしい」を ポストイットで貼る
17:45	発表	
17:50	まとめ	
17:53	クロージング	まとめ・次回の確認・アンケート
17:55	終了	

1.講師

藤野一夫教授(芸術文化観光専門職大学副学長)

2.タイトル

「文化的コモンズの形成を目指して～多様な連携の形から考える～」

3.講義内容

①文化的コモンズの形成から文化施設の公共性を考える

文化的コモンズとは？

文化的コモンズの形成に必要なコーディネーターについて など

②自治体文化政策によって「連携」の基礎をつくる

現在の文化振興条例と計画等の制定状況

先進事例について(やおうえるかむこもんず)

③他分野の公共文化施設における(との)連携の形を探る

タテ割り行政に風穴を開けるおにクルの強み など

ワークショップ

1. ワーク概要

- ①5チームに分かれて「どんな時にワクワクする？感動する？好きな雰囲気は？」を話し合う
※各チームにファシリテーターが1人ずつ入り、参加者同士の対話をフォロー
- ②お互いに気になったキーワードをポストイットに書く
「私も！」という共感の気持ちは赤色、新しい視点で「思いつかなかった！」というおどろきの気持ちは青色、「茨木らしい！」と思ったら黄色
- ③模造紙に、感想を踏まえながらポストイットを貼る
- ④MCが会場内をまわり、各グループから印象に残ったことや気になったキーワードを共有
- ⑤MCよりまとめ「今回共有した気持ちでこの先のアートカフェをやれていると良いね」

2. ディスカッションの様子・一部抜粋

- ・「役所の人と市民の距離が近い」：「他の地域に住んでいたが、このような活動は無かったからうれしい」と茨木市在住4年目の人からの声があった。同じグループに、中国からの留学生もいて「私の故郷でもこのような取り組みはなかった」と共感している様子だった。
- ・「理性と知性」：京都で参加したワークショップで感じたことを共有している人に対して、赤と青のポストイット両方にこのキーワードを書いている人が多かった。共感と新しい発見が交じり合っている瞬間だった。
- ・「神社が多い」：「茨木市は神社が多く、コロナをきっかけに周辺を散歩するようになった、歴史も好き」という人に対して、「もっとお話を聞きたい、興味が湧いた」などの発言も飛び交っていて、相手の好きを引き出すことが得意な人もいる様子だった。
- ・「精力的ですごい」：切り絵作家として活動されている人は、自身の作品が印刷されたポストカードを持参しており、「すごい」「私、切り絵好きなんですよ！」とグループ内で盛り上がっていた。
- ・「ドキプル」：今の感情をオノマトペで表現すると？「ドキプル」。ドキドキにプルンとした水滴がついている感じという発言に対して、グループ全員が青色ポストイットに「ドキプル」と書いて、新しい感覚を共有していた。

ワークショップ

3.発表の様子

- 事前依頼なく、その場で発表者を指名したにも関わらず、グループ内で出た話題をお互いに紹介し合い、共有することができた。
- 「同じグループには、こんな活動をしている人がいます」と他己紹介が自然になされていた。
- 終了後、前方に各グループの模造紙を掲示したところ、興味深く見ている参加者も多く見られた。

4.藤野教授からの会議全体への講評

「この会議は、今まで出会わなかった人と出会える場所。
その中で、おにクルには、新たな取組や交流が生まれる場所になり、
さらには、おにクル以外に染み出していくことを期待している」

アンケート結果

項 目	n=18(人)				回答割合
	非常に思う	まあまあ思う	少し思う	特に変わらない	
1. 文化芸術活動に対して、関わりたい気持ちが高まりましたか？	16	2	0	0	非常に思う まあまあ思う 少し思う 特に変わらない 89% 11%
2. 新しい出会いやつながりを感じることはできましたか？	11	6	1	0	非常に思う まあまあ思う 少し思う 特に変わらない 61% 33% 6%
3. 地域社会に貢献したい意識は高まりましたか？	11	6	1	0	非常に思う まあまあ思う 少し思う 特に変わらない 61% 33% 6%
4. 新しいことへの好奇心や新しいアイデアを得ることはできましたか？	11	7	0	0	非常に思う まあまあ思う 少し思う 特に変わらない 61% 39%
5. 家族や友人など周りの人にこの活動を広めたいと思いますか？	12	5	0	1	非常に思う まあまあ思う 少し思う 特に変わらない 67% 28% 6%

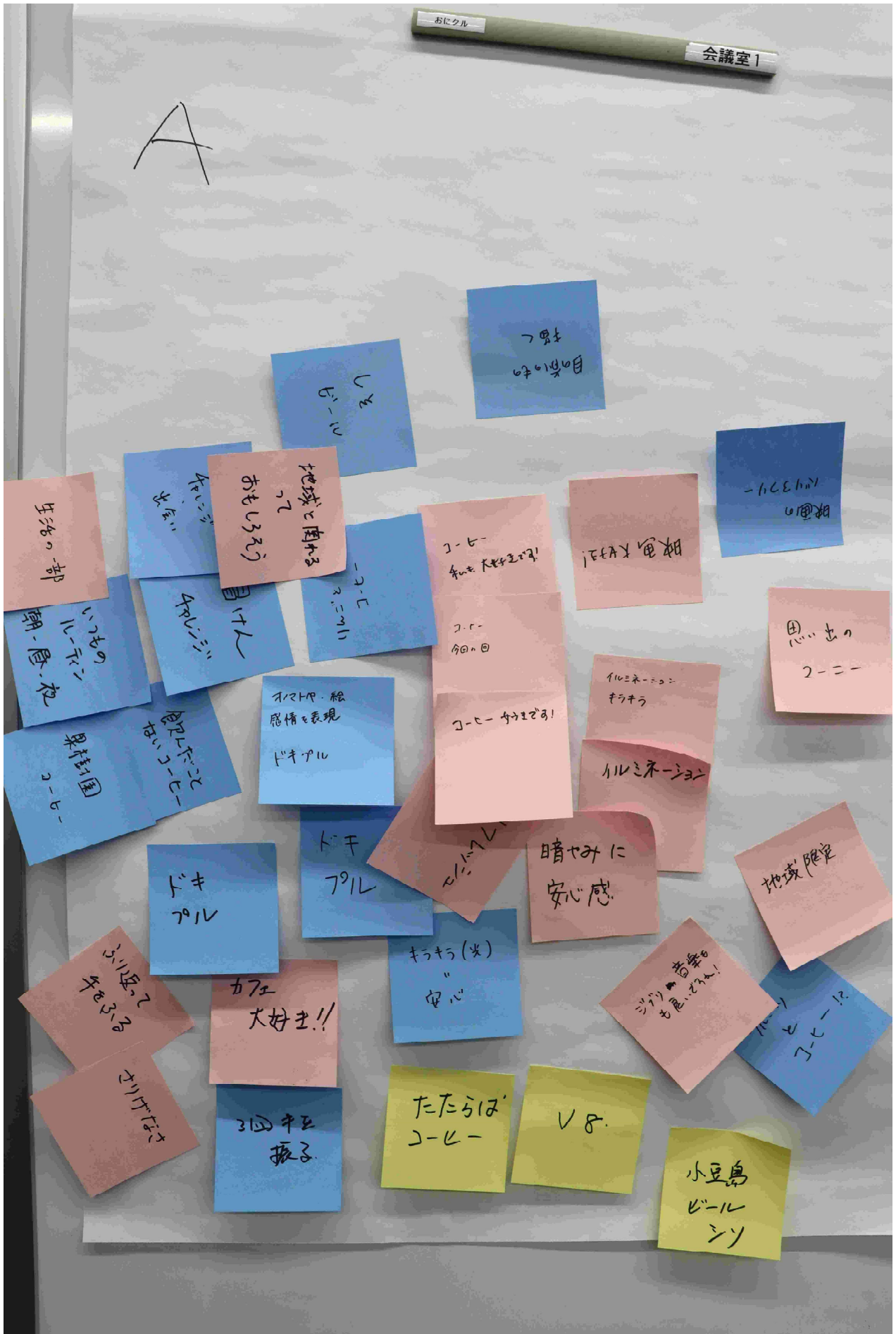
今回の活動を通して感じたこと、ご意見、日程について何かありましたらご記入ください。

- アートカフェとは、どんな事をするんだろうと分からないまま参加させていただきましたが、今日のワークを経て、みなさんと一緒に気持ちをシェアしながら、少しずつ創りあげていければいいんだな、と安心しました。次回を楽しみにしております。
- 藤野先生のお話しを含めて勉強になりました。これからこの活動がどうなるのかワクワクします。
- 文化とアートの違いは見過ごせない。おにくるには美術館機能がない。
- 初めて会う方も多くて、これからもっといろいろな話をしたいなあと思いました。
- いろいろな方が参加しているように見受けられました。これからどのように繋がれるかわくわくです。
- 藤野先生の講義は大変面白く、グループでのワークショップでは、新たなつながりを早速感じる事ができました。今後もどうぞよろしくお願いいたします。
- 既知の方と新しい出会いと、楽しい時間になりました。次回もよろしくお願いいたします。
- 皆さんと一緒にもっと話をしたいなーと思いました。
- 今日は新たな視点を得ることが出来ました。次回も楽しみです。

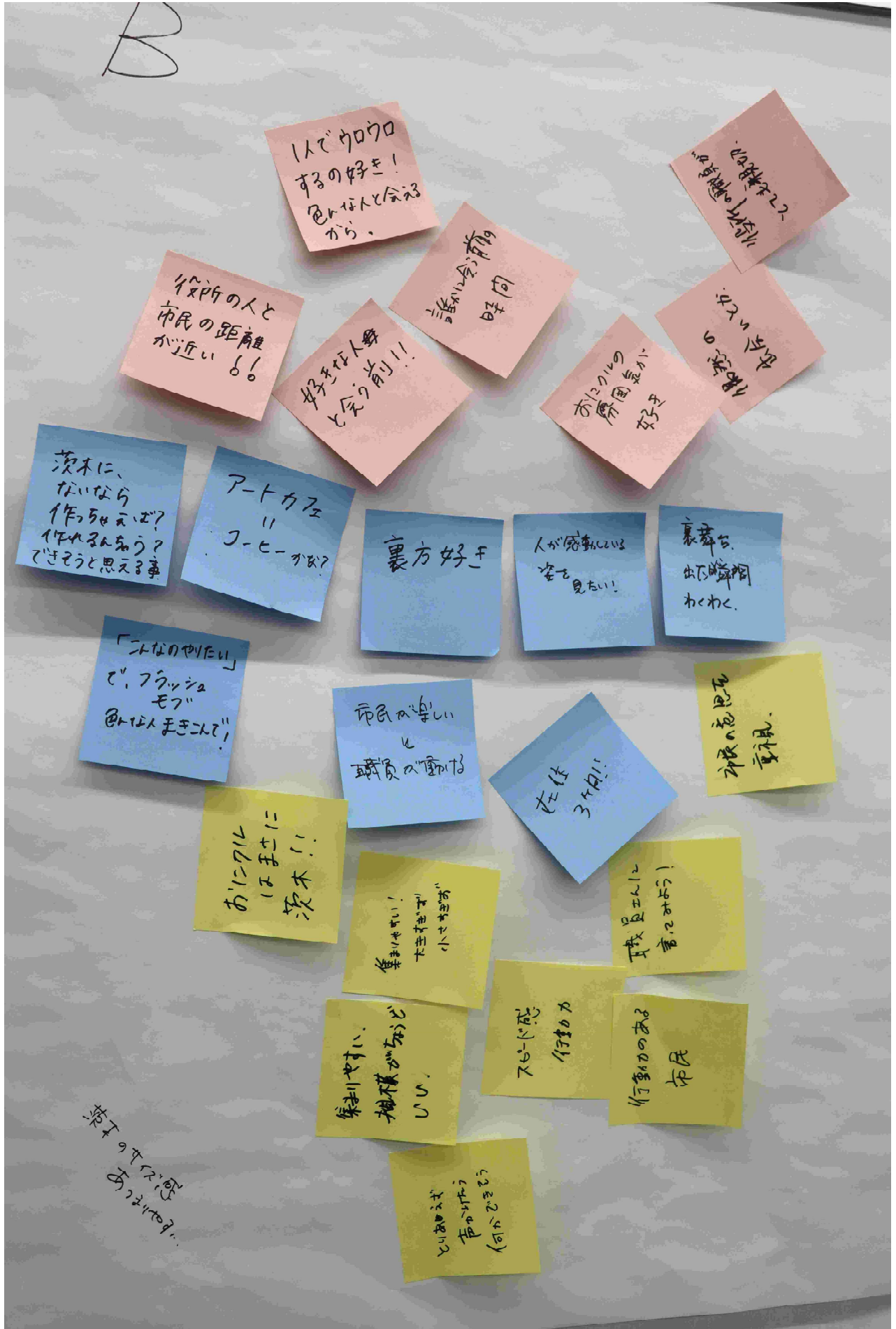
記録画像〈会場内の様子〉



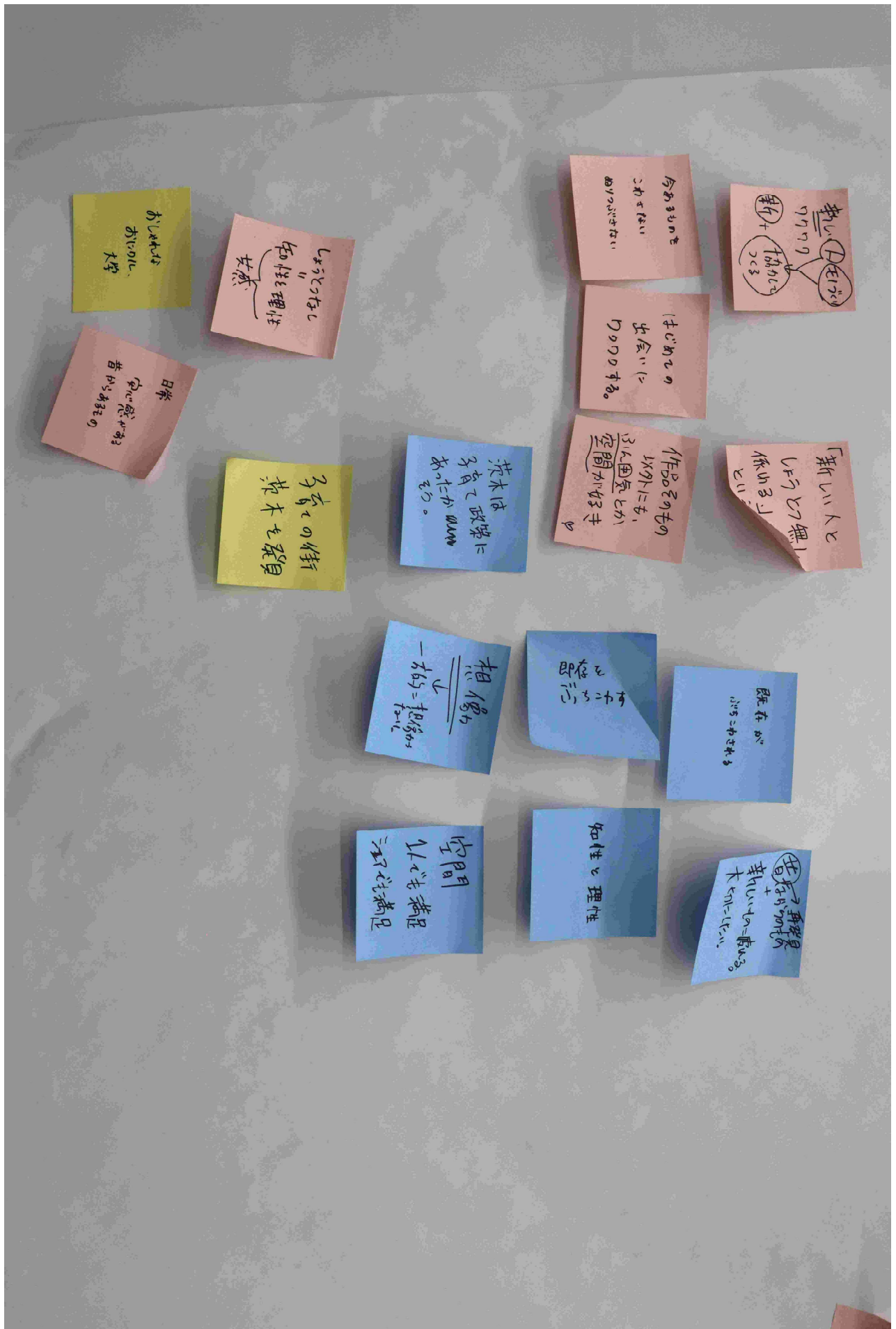
記録画像〈Aグループ〉



記録画像〈Bグループ〉



記録画像〈Cグループ〉



記録画像〈Dグループ〉



記録画像<Eグループ>

